



国民春闘共闘

2022年度 第3号
2021年11月16日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

年末一時金 第2回集計

単純平均 2.03ヵ月 627,682円、加重 616,205円

前年同期比 単純 +0.14ヵ月・+63,269円、加重 +54,379円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は11月12日、第2回の年末一時金集計を行いました。

<回答状況>

	2021年	2020年同期
回答引き出し組合	597	808
うち 妥結組合	134(22.4%)	168(20.8%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象	2021年回答	2020年同期	同期比
単純平均	月数	2.03	1.89
	額(円)	627,682	564,413
加重平均	額(円)	616,205	561,826
	組合員数	107,404	198,439

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

	組合数	うち前年実績以上	21年回答	20年実績	実績比
単純平均	月数	459	372(81.0%)	2.03	1.93
	額(円)	285	184(64.6%)	635,089	600,595

<非正規の仲間の回答状況>

	時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数 (0.912)	1.038 (0.912)	1.448 (1.361)	1.245 (0.750)
	額(円) (47,821)	58,212 (47,821)	288,879 (184,264)	87,791 (56,866)

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

※非正規の仲間の回答状況のカッコ()内は前年度最終集計の結果

回答引出し・妥結状況

11月12日の年末一時金第2回集計には、別表の20単産・部会から報告が寄せられました。597組合が何らかの回答を引き出し、そのうち金額もしくは月数などが明らかになっている組合(有額回答)は563組合となっています。

回答内容

回答月数が判明している512組合での単純平均(一組合あたりの平均)は2.03ヵ月で、前年同期(20/11/13、1.89ヵ月)を0.14ヵ月上回っています。回答金額が判明している342組合の単純平均は、627,682円で前年同期(564,413円)を63,269円上回っています。また加重平均(組合員一人あたりの平均)は616,205円で前年同期(561,826円)を54,379円上回っています。

回答月数の前年実績が明確にわかっていて同一組合での対比が可能な459組合の単純平均を前年実績と比べると、2.03ヵ月で、前年実績(1.93ヵ月)を0.10ヵ月上回っています。額では285組合の単純平均で、635,089円で前年実績(600,959円)を34,494円上回っています。

産業別で見ると、製造、マスコミ関係などが前年を顕著に上回っている一方で、運輸通信、医療や社会福祉などが苦戦をしています。

非正規で働くなかまの賃上げ状況

非正規ではたらく仲間の一時金獲得は、別表の5単産106組合から172件の獲得報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者の一時金獲得では、JMITU、生協労連、全印総連、出版労連、日本医労連から102件の獲得報告となっています。月数報告のあった75件の単純平均は1.038ヵ月で、前年最終(0.912ヵ月)を0.126ヵ月上回っています。なかでもJMITU、出版労連の組合から、パート職員の月数を正社員と同数支給を勝ち取った方向が寄せられています。

また、金額報告のあった46件の単純平均は58,212円で、前年最終(47,821円)を10,391円上回っています。

月給制労働者では生協労連で45件の獲得となり、月数の単純平均は1.448ヵ月、金額で288,879円となっています。

時給制の継続雇用者では、生協労連、全印総連、出版労連で11件の引き出しとなり、月数の単純平均で1.245ヵ月、金額では87,791円となっています。

月給制の継続雇用者では14件の引き出しとなっています。月数の単純平均で1.592ヵ月、金額では235,944円となっています。